

平成27年10月26日

# 返還金の回収状況等について

## 1.中期計画及び平成27年度計画での目標値

- (1) 当年度分(当該年度に返還期日が到来するもの)回収率
- (2) 要返還債権数に占める新規3か月以上延滞債権数の割合の改善率
- (3) 総回収率(当該年度に返還されるべき要回収額に対する回収額の割合)
- (参考) 要返還債権数に占める新規3か月以上延滞債権数の割合の改善率の考え方
- (参考) 要返還債権数に占める新規3か月以上延滞債権数の割合の改善率  
(目標未達成の要因等)

## 2.返還金回収状況 1/2

## 3.返還金回収状況 2/2

## 4.学種別延滞債権数割合

## 5.新規返還者の初年度末 回収率

## 6.振替口座加入率(新規返還開始者)

## 7.延滞年数別債権数及び債権額 1/2

## 8.延滞年数別債権数及び債権額 2/2

## 9.総貸付金残高に占める3か月以上延滞債権額

## 10.返還猶予者数・減額返還者数

## 11.年度末返還期限猶予事由別債権額の推移

## 12.返還できない事情(アンケート調査)

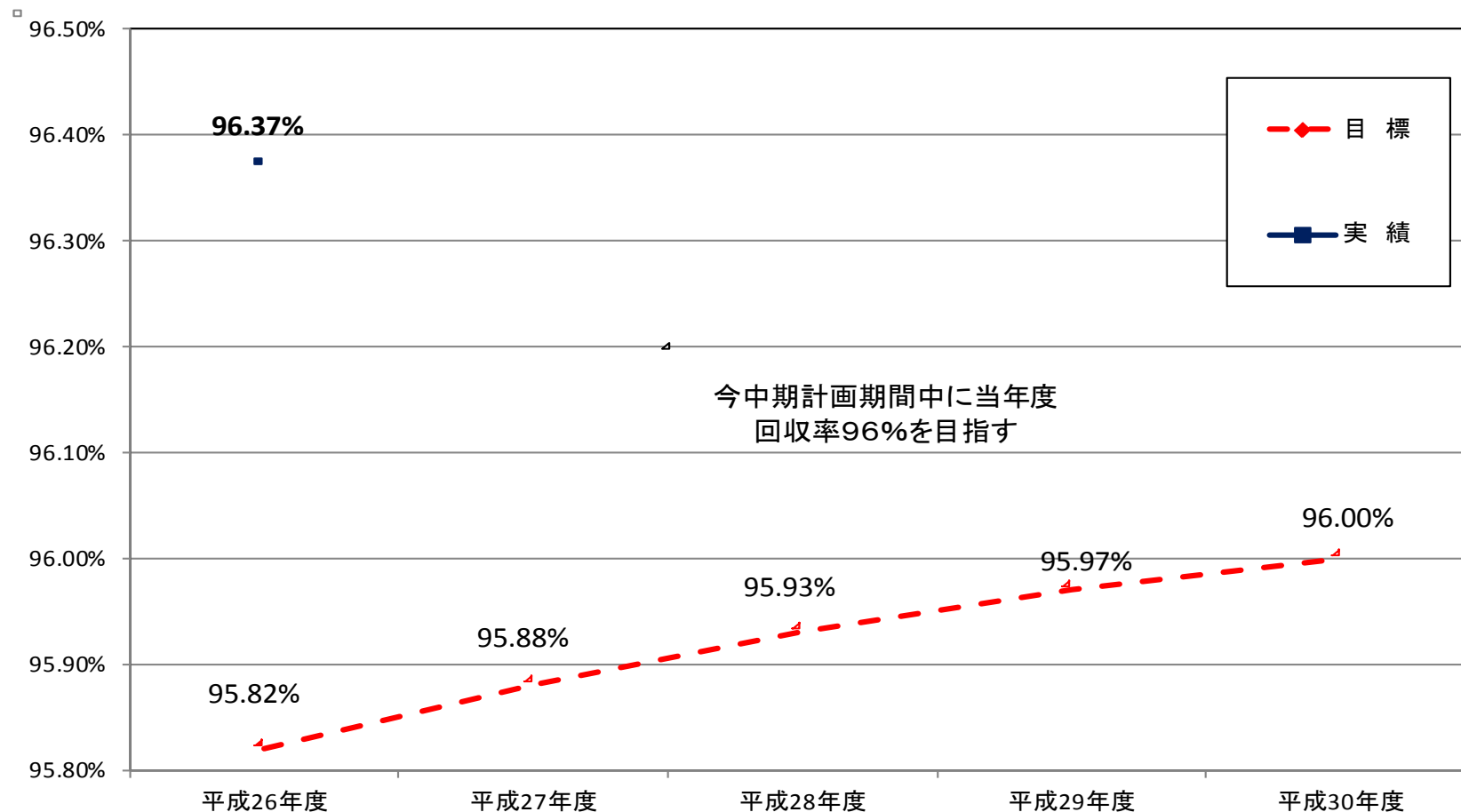
## 13.機関保証加入者数・割合

## 14.代位弁済状況

## ■ 中期計画及び平成27年度計画の主な目標値(回収促進)について

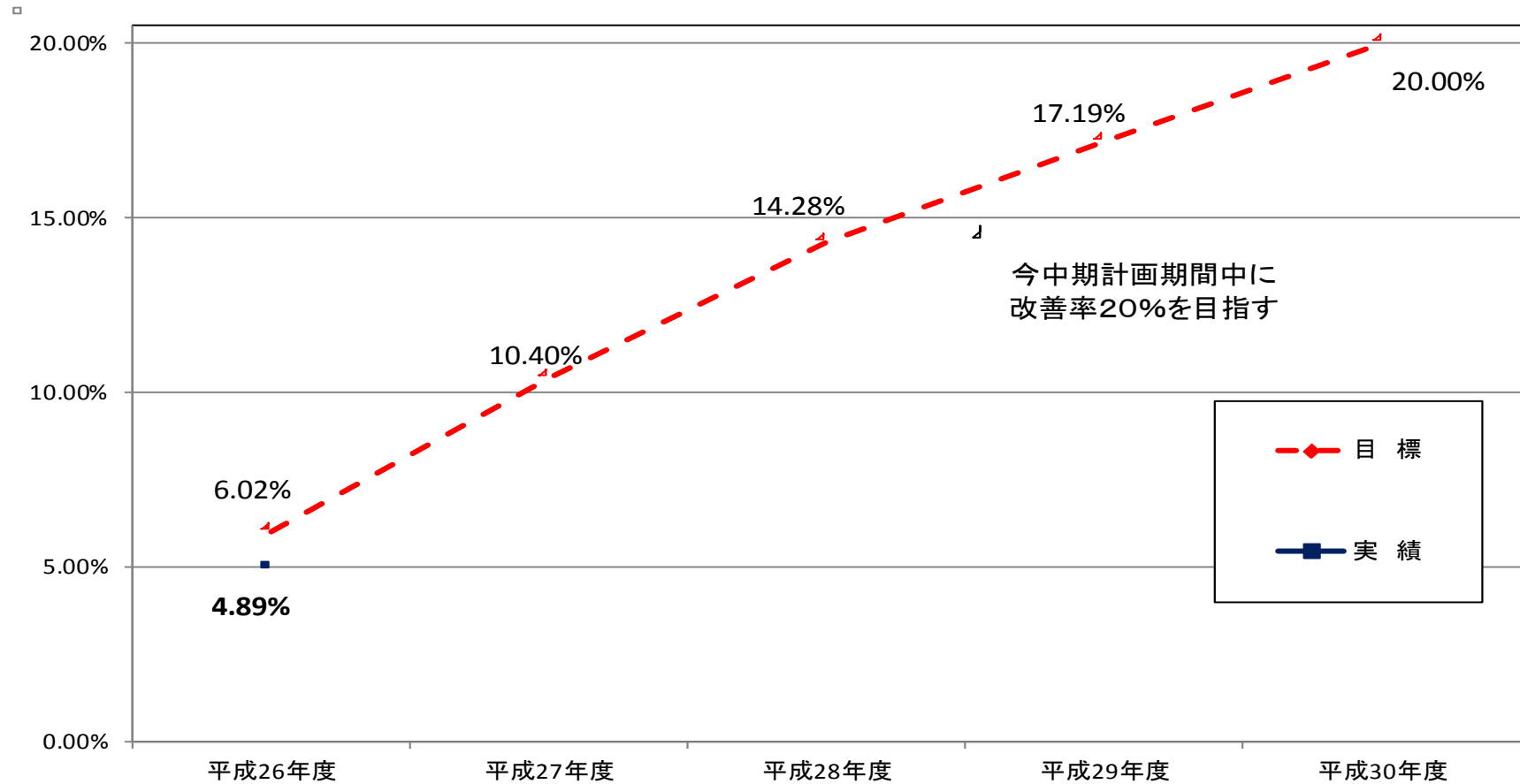
1. 当年度分(当該年度に返還期日が到来するもの)の回収率を中期目標期間中に96%とすることを目指す。 **平成27年度目標値95.88%**
2. 要返還債権数に占める当該年度に新たに3か月以上延滞債権となった債権数の割合を前中期目標期間最終年度における割合と比較し中期目標期間中に20%以上改善することを目指す。 **平成27年度目標値10.40%**
3. 総回収率(当該年度に返還されるべき要回収額に対する回収額の割合)を中期目標期間中に83%以上にすることを目指す。 **平成27年度目標値82.87%**

# (1) 当年度分(当該年度に返還期日が到来するもの)回収率



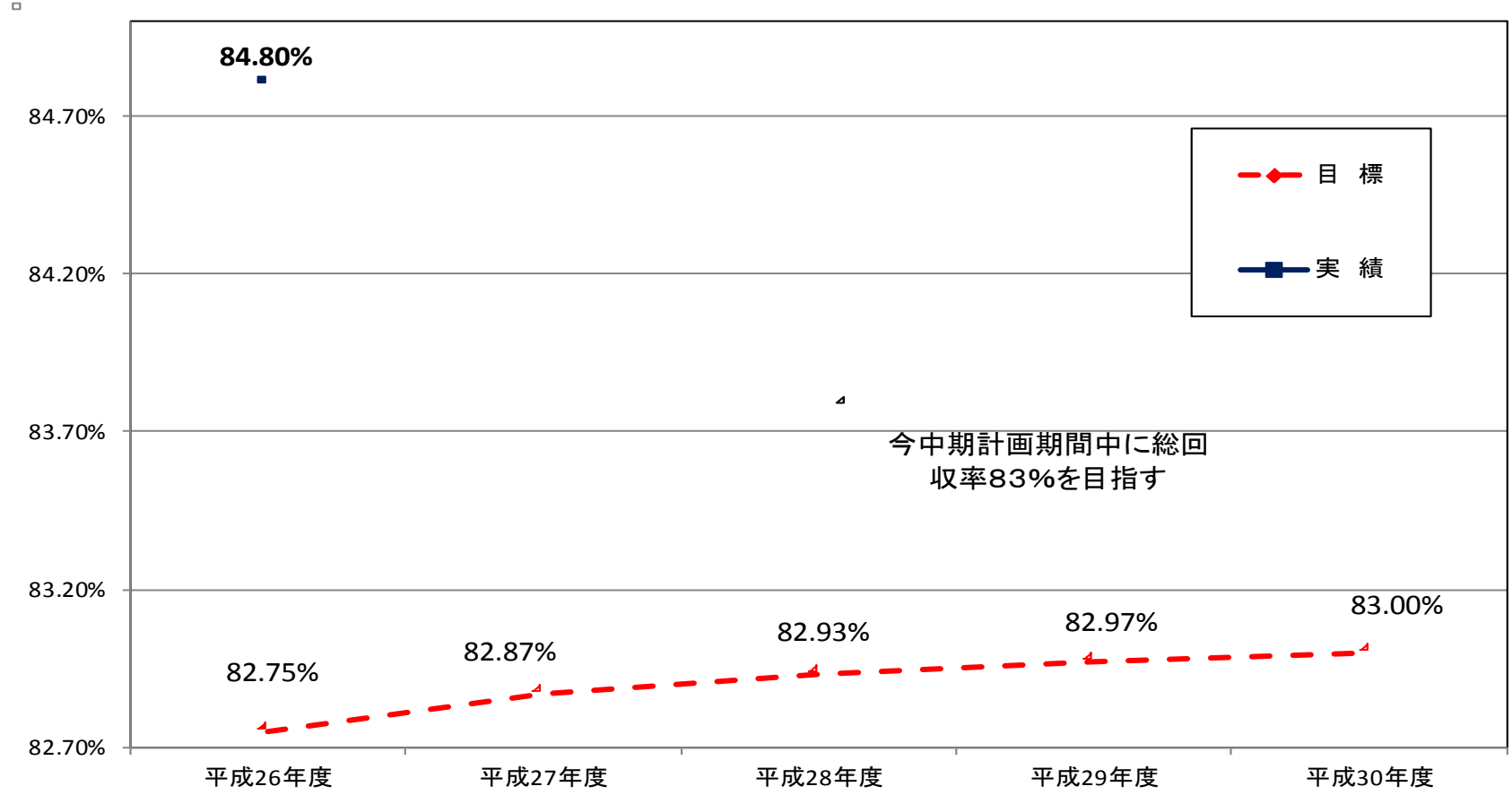
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標	95.82%	95.88%	95.93%	95.97%	96.00%
実績	96.37%				

## (2) 要返還債権数に占める新規3か月以上延滞債権数の割合の改善率



区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標	6.02%	10.40%	14.28%	17.19%	20.00%
実績	4.89%				

### (3) 総回収率(当該年度に返還されるべき要回収額に対する回収額の割合)



区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標	82.75%	82.87%	82.93%	82.97%	83.00%
実績	84.80%				

# (参考)要返還債権数に占める新規3か月以上延滞債権数の割合の改善率の考え方

○平成22～24年度の3か年実績を利用した推計値

区分	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績見込)	(推計)	(推計)	(推計)	(推計)
要返還債権数(A)	3,141,326	3,353,317	3,580,601	3,803,286	4,020,217	4,215,501	4,404,984	4,558,726
新規3か月以上延滞債権数(B)	39,317	38,093	36,750	36,750	36,750	36,750	36,750	36,750
新規3か月以上延滞率(C=B/A)	1.25%	1.14%	1.03%	0.97%	0.91%	0.87%	0.83%	0.81%
改善率 (C(平成25年度)-C(平成25+n)年度)/C(平成25年度)	-	-	-	-	5.4%	9.8%	13.7%	16.6%

要返還債権数は事業規模の拡大に伴い上昇傾向であるが、回収努力を考慮し、新規3か月以上延滞債権数は平成24年度末実績を維持するものと推計した。

目標値は更なる回収努力を考慮し、以下のように設定

○第3期中期計画目標値

区分	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績見込)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
改善率	-	-	-	-	6.02%	10.40%	14.28%	17.19%

○実績

区分	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
要返還債権数(A)	3,141,326	3,353,317	3,580,601	3,788,801	3,998,668
新規3か月以上延滞債権数(B)	39,317	38,093	36,750	34,890	35,031
新規3か月以上延滞率(C=B/A)	1.25%	1.14%	1.03%	0.92%	0.88%
改善率 (C(平成25年度)-C(平成25+n)年度)/C(平成25年度)	-	-	-	-	4.89%

(参考)要返還債権数に占める新規3ヶ月以上延滞債権数の割合の改善率(目標未達成の要因等)

① 平成26年度末の新規3ヶ月以上延滞債権が増加したこと

今中期目標期間中の削減に係る目標値(20%)は、要返還債権数が事業規模拡大に伴い上昇傾向であるなかで、回収施策を考慮し、新規3ヶ月以上延滞債権数は平成24年度実績を維持する想定で設定したが、平成26年度末の当該債権数は平成25年度末と比較して増加した。

② 平成25年度末の新規3ヶ月以上延滞債権の割合が当初の見込みと相違したこと

今中期目標期間中の削減にかかる目標値(20%)は、目標の基準となる平成25年度末の新規3ヶ月以上延滞債権の割合の見込みを0.97%に設定していたが、確定した平成25年度実績は、0.92%と当初見込みと大きく相違した。

(単位:件)

区分	平成25年度末 (見込)	平成26年度末 (見込)
要返還債権数(A)	3,803,286	4,020,217
うち新規3ヶ月以上延滞債権数(B)	36,750	36,507
新規3ヶ月以上延滞債権割合(B/A)	0.97%	0.91%
改善率	-	6.02%

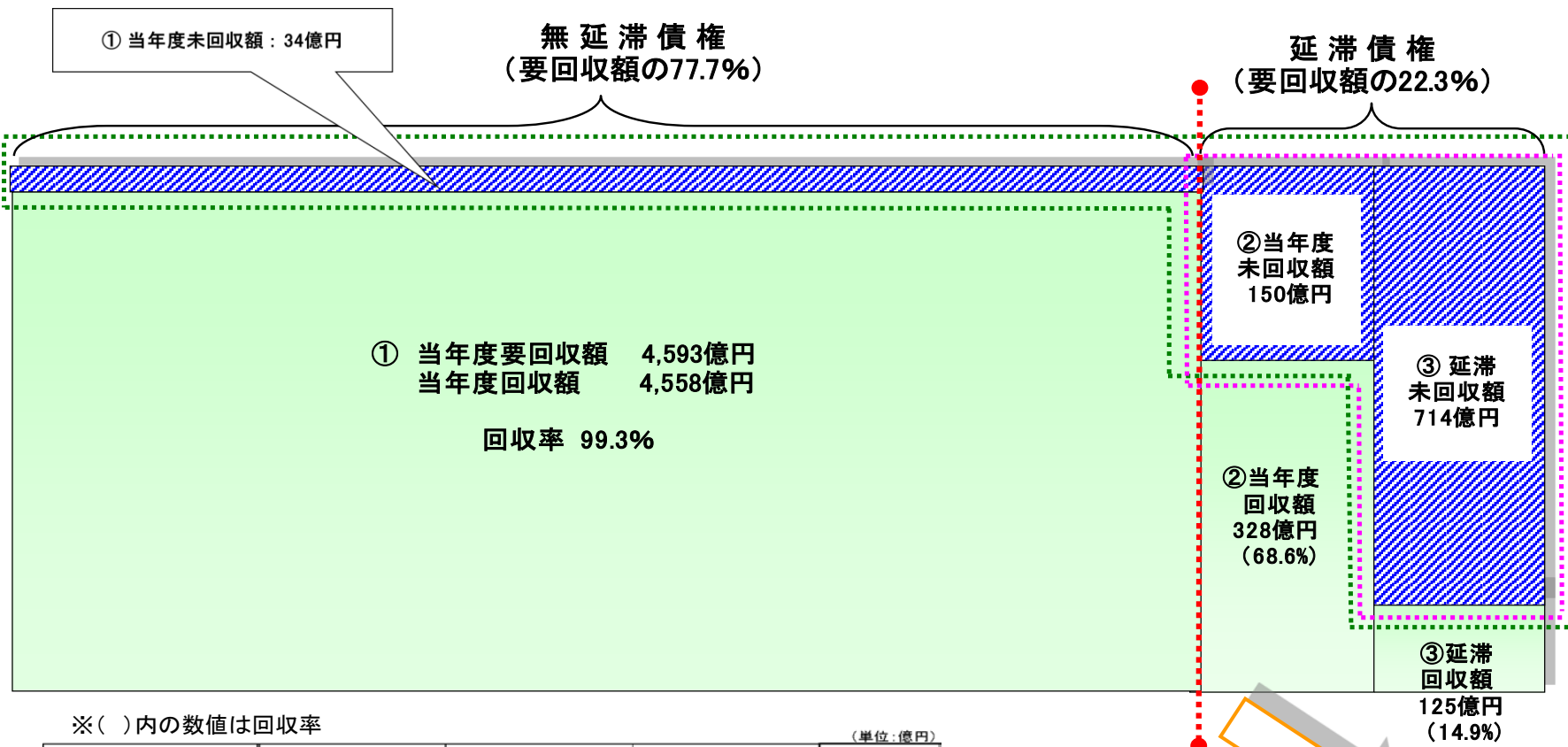
目標の基準となる割合が、見込みと実績で大きく相違した

平成25年度末 (実績)	平成26年度末 (実績)	【参考】目標値達成	目標値達成との差
3,788,801	3,998,668	3,998,668	-
34,890	35,031	34,608	423
0.92%	0.88%	0.87%	
-	4.89%	6.08%	

目標は達成できなかったが、割合は見込みより改善した



# 2 返還金回収状況 1/2



※( )内の数値は回収率

(単位:億円)

平成26年度末実績	要回収額	回収額	未回収額	回収率	
当年度①	4,593	4,558	34	99.3%	
延滞分	当年度②	478	328	150	68.6%
	延滞③	839	125	714	14.9%
	計(②+③)	1,317	453	864	34.4%
計(①+②+③)	5,909	5,011	898	84.8%	
当年度計(①+②)	5,071	4,886	184	96.4%	

翌年度における延滞分  
要回収額 898億円

- (注) 1. 「無延滞債権」及び「延滞債権」は平成26年度期首における状態である。  
2. 要回収額とは、当該年度中に回収すべき額で、返還期日到来分のみ。  
3. 要回収額及び回収額には、繰上返還額を含まない。  
4. 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

### 3 返還金回収状況 2/2

(単位: 億円)

区 分	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末
要 回 収 額 (A)	3,983	4,384	4,738	5,155	5,578	5,909
回 収 額 (B)	3,186	3,532	3,862	4,230	4,621	5,011
回 収 率 (B/A)	80.0%	80.6%	81.5%	82.1%	82.8%	84.8%
当年度分(①+②)	94.1%	94.7%	95.2%	95.6%	96.0%	96.4%
延滞分(③)	13.9%	14.6%	14.5%	13.8%	14.0%	14.9%
未回収額 (A-B) (翌年度における延滞分要回収額)	797	852	876	925	957	898
繰 上 返 還 額	823	1,034	1,187	1,352	1,503	1,561

- (注) 1. 要回収額(A)とは、当該年度中に返還すべき額(元金)で、返還期日到来分のみ。  
 2. 要回収額(A)及び回収額(B)には、繰上返還額を含まない。  
 3. 繰上返還額とは、返還期日未到来の割賦金のうち、返還された額(元金)。  
 4. 四捨五入の関係で計等が一致しない場合がある。

# 4 学種別延滞債権数割合

(単位: %)

区 分	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末
第 一 種 奨 学 金	9.5	9.0	8.2	7.8	7.3	6.8
┌ 短 大	11.5	11.4	10.5	10.3	9.9	9.2
├ 大 学	10.1	9.6	8.8	8.4	7.9	7.3
├ 大 学 院	5.9	5.3	4.8	4.5	4.2	3.9
├ 高 等 専 門 学 校	10.4	9.9	9.1	8.4	7.7	7.1
└ ( 専 門 課 程 )	12.9	12.2	11.0	10.4	9.7	8.8
第 二 種 奨 学 金	11.4	10.8	10.0	9.5	9.0	8.6
┌ 高 等 専 門 学 校	7.7	6.8	7.9	7.2	5.6	6.4
├ 短 大	12.8	12.4	11.0	10.7	10.2	9.7
├ 大 学	10.7	10.1	9.3	8.8	8.4	7.8
├ 大 学 院	6.4	6.0	5.6	5.4	5.3	4.9
└ ( 専 門 課 程 )	14.3	13.7	12.5	12.0	11.4	10.8
計	10.6	10.1	9.2	8.8	8.4	7.9

延滞債権数

(注) 延滞債権数割合 =  $\frac{\text{延滞債権数}}{\text{延滞債権数} + \text{無延滞債権数}}$

高等学校等奨学金については、平成17年度より都道府県に事業を移管したため、集計からは除いている。

## 5 新規返還者の初年度末 回収率

(単位:億円)

区 分		平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末
第一種奨学金	要回収額(A)	63	58	61	59	64	67
	回収額(B)	62	57	60	58	63	66
	回収率(B/A)	97.5%	97.9%	98.1%	98.1%	98.2%	98.3%
第二種奨学金	要回収額	121	130	135	156	164	173
	回収額	115	124	130	151	158	167
	回収率	95.2%	95.8%	96.0%	96.3%	96.5%	96.8%
合 計	要回収額	184	188	197	215	228	240
	回収額	177	182	190	208	221	233
	回収率	96.0%	96.4%	96.7%	96.8%	97.0%	97.2%

(注)新規返還者とは、当該年度の10月から3月までに返還が開始する貸与終了者(満期者及び退学・辞退等による貸与終了者)をいう。

## 6 振替口座加入率（新規返還開始者）

単位(%)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
新規返還開始者	100.0	99.8	99.8	99.8	99.7	99.7
高等学校等	100.0	100.0	—	—	—	—
短大	100.0	99.9	99.9	99.8	99.7	99.7
大学	100.0	99.8	99.8	99.8	99.8	99.7
大学院	100.0	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8
高等専門学校	100.0	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0
専修学校(専門課程)	100.0	99.8	99.7	99.6	99.6	99.7
総合	93.0	94.4	95.7	96.5	96.9	97.2

(注) 新規返還開始者とは前年度3月の満期者をいう。

# 7 延滞年数別債権数及び債権額 1/2

## 【債権数】

(単位:千件)

区分	延滞8年以上	7~8	6~7	5~6	4~5	3~4	2~3	1~2	0~1	延滞計	期日未到来	合計
第一種	41	6	6	7	6	5	5	7	65	148	1,400	1,548
第二種	11	4	5	6	6	6	6	11	146	202	2,248	2,450
合計	52	10	11	13	12	11	12	18	211	350	3,649	3,999

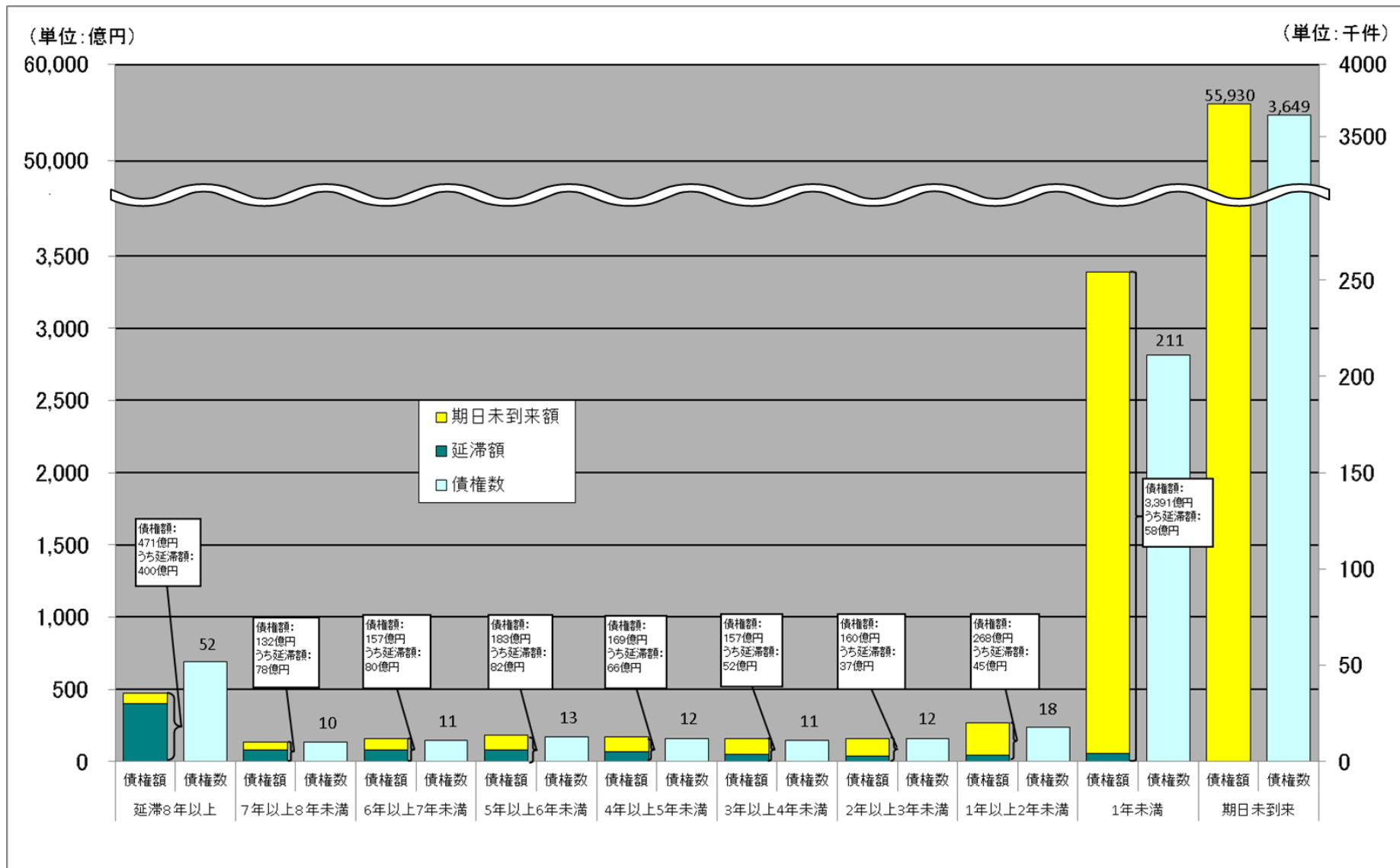
## 【債権額】

(単位:億円)

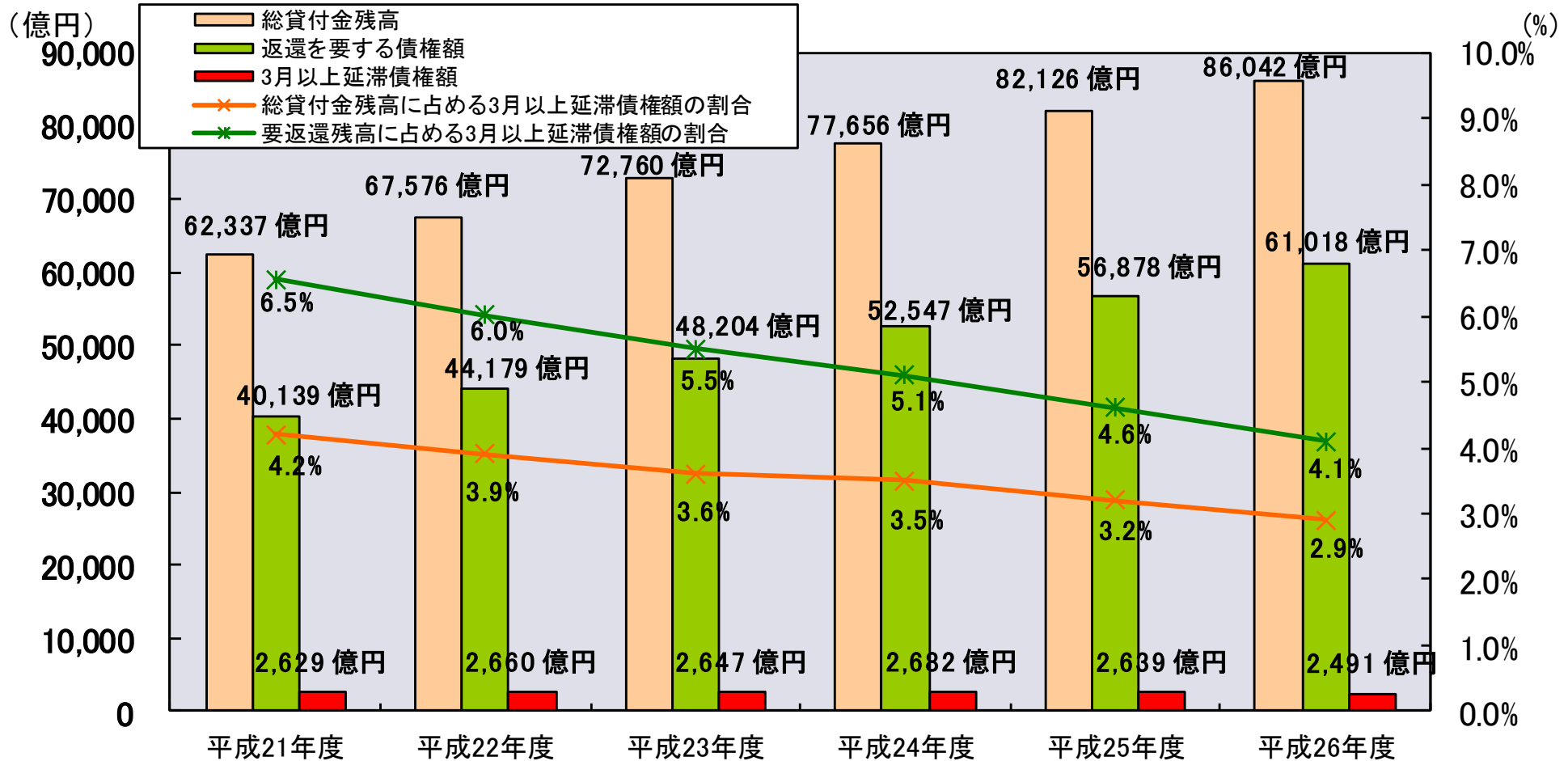
区分	延滞8年以上	7~8	6~7	5~6	4~5	3~4	2~3	1~2	0~1	延滞計	期日未到来	合計
第一種		286	48	52	57	50	44	63	691	1,339	16,439	17,777
	延滞額	266	34	33	32	25	19	12	16	449	0	449
	期日未到来額	21	14	19	26	26	27	31	51	676	890	16,439
第二種		184	85	106	126	118	116	205	2,700	3,750	39,491	43,241
	延滞額	134	44	48	50	41	33	23	43	449	0	449
	期日未到来額	50	40	58	76	77	78	92	172	2,657	3,301	39,491
合計		471	132	157	183	169	157	268	3,391	5,089	55,930	61,018
	延滞額	400	78	80	82	66	52	37	58	898	0	898
	期日未到来額	71	54	77	101	103	105	123	223	3,333	4,190	55,930

※金額はそれぞれ四捨五入しているため、各項目の計は合計と必ずしも一致しない。

# 8 延滞年数別債権数及び債権額 2/2



# 9 総貸付金残高に占める3月以上延滞債権額



(注) 「返還を要する債権額」とは、「期末貸与金残高」から貸与継続中を控除した債権額であり、返還期日未到来分を含む。



# 10 返還猶予者数・減額返還者数

[返還猶予者数]

(単位:件)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
病氣中	7,061	8,335	8,443	8,970	9,622	9,295
災害	15	101	2,813	1,123	769	551
入学準備	852	1,064	1,106	827	598	518
生活保護	1,475	2,092	3,843	4,613	5,564	3,411
経済困難・失業中等	58,149	79,900	92,157	99,405	105,250	120,216
育児休暇等	—	—	—	—	—	3,177
所得連動	—	—	—	—	—	393
合計	67,552	91,492	108,362	114,938	121,803	137,561

(注) 育児休暇等及び所得連動については平成26年度より集計を開始した。

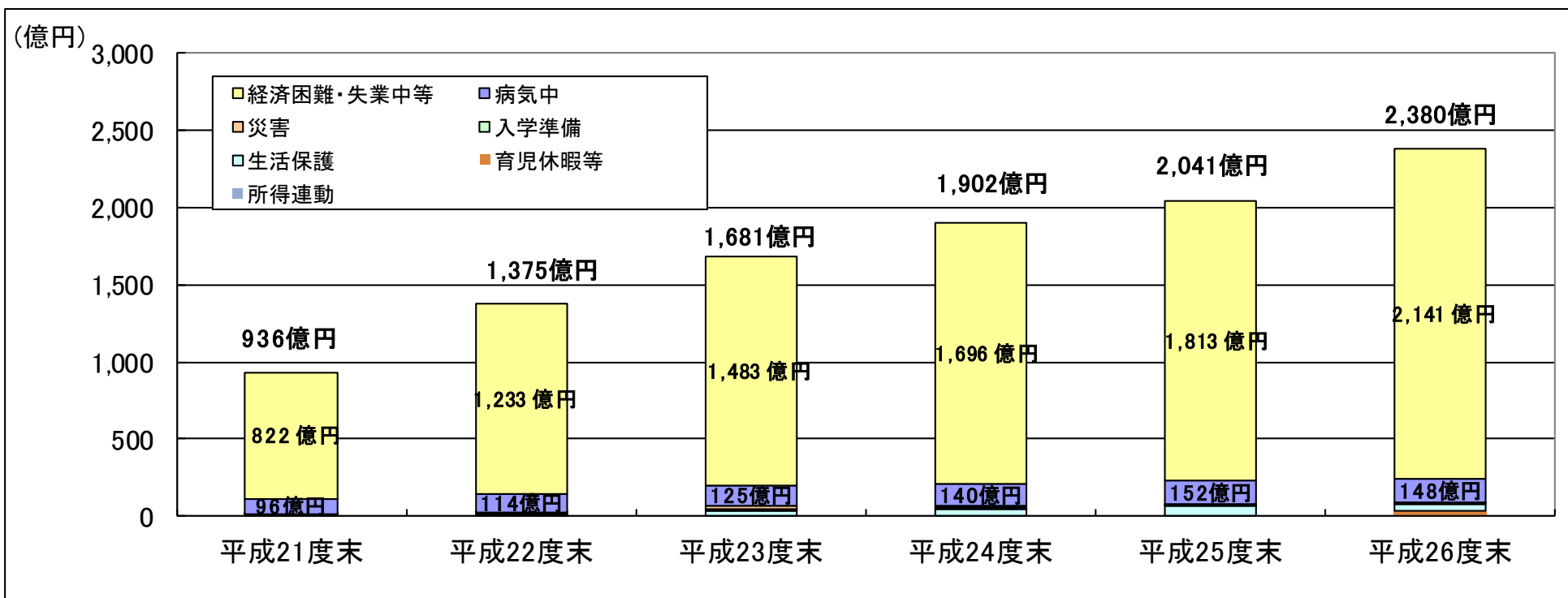
[減額返還者数]

(単位:件)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
減額返還	—	900	5,987	10,664	14,079	16,017

(注) 減額返還制度は平成23年1月より運用を開始した。

# 1 1 年度末返還期限猶予事由別債権額の推移



(単位：億円)

区分	平成21度末	平成22度末	平成23度末	平成24度末	平成25度末	平成26度末
病 氣 中	96	114	125	140	152	148
災 害	0	2	28	10	9	6
入 学 準 備	4	6	6	4	3	3
生 活 保 護	14	21	41	53	65	46
経済困難・失業中等	822	1,233	1,483	1,696	1,813	2,141
育児休暇等	—	—	—	—	—	32
所得連動	—	—	—	—	—	3
計	936	1,375	1,681	1,902	2,041	2,380

(注) 在学猶予、特別猶予、期限内猶予及び期限延期猶予を除く

(注) 育児休暇等及び所得連動については平成26年度より集計を開始した。

# 1 2 返還できない事情（アンケート調査）

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (暫定版)
調査対象	調査時点(平成22年3月)において延滞6月以上の者	調査時点(平成22年12月)において延滞6月以上の者	調査時点(平成23年12月)において延滞3月以上の者	調査時点(平成24年12月)において延滞3月以上の者	調査時点(平成25年12月)において延滞3月以上の者	調査時点(平成27年1月)において延滞3月以上の者
発送件数	67,243件	89,555件	19,120件	19,301件	19,573件	19,518件
有効回答数	3,553 件	3,956 件	4,169件	3,873件	4,139件	3,764件
有効回答率	5.3%	4.4%	21.8%	20.1%	21.1%	19.3%
本人の低所得	49.1 %	47.8 %	49.3 %	47.5 %	51.1 %	51.6 %
親の経済困難 (本人が親へ経済援助をしており支出が多い)	34.1	37.8	35.5	34.8	18.9	25.9
親の経済困難 (本人親が返還する約束)					17.7	20.2
延滞額の増加	22.1	27.8	28.6	32.2	29.9	46.8
本人が失業中(無職)	20.3	21.4	19.1	18.5	15.1	16.6
本人の借入金の返済	19.4	19.5	19.6	21.6	19.8	26.0
本人が病気療養中	8.6	6.7	6.2	6.6	5.3	7.5
家族の病気療養	7.3	7.3	7.9	7.3	5.7	12.2
配偶者の経済困難	5.6	5.1	4.9	5.8	5.4	9.0
本人が学生(留学を含む)	1.2	1.4	1.1	1.0	0.7	0.8
忙しい(金融機関に行けない)	1.6	2.1	3.9	4.1	3.5	7.1
返還するものだとは思っていない	-	-	0.2	0.3	0.5	0.6
その他	4.9	6.6	3.8	1.8	6.5	8.5

注1: 日本学生支援機構が実施している「奨学金の延滞者に関する属性調査」(アンケート調査)から集計したものである。

注2: 平成22年度以前と平成23年度以降では調査対象が異なるため、結果を単純に比較できない。

(平成21年度から平成22年度は延滞6月以上の、平成23年度からは延滞3月以上の返還者の延滞理由の構成比率である)

注3: 平成25年度以前と平成26年度では回答方法が異なるため、結果を単純に比較できない。

(平成25年度以前は2つまで選択、平成26年度は当てはまるものすべて選択)

注4: 複数回答のため合計は100%にならない。

# 1 3 機関保証加入者数・割合

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
第一種奨学金	機関保証選択数(件) …A	43,770	47,884	57,081	59,349	68,657	73,768
	加入対象新規採用数(件) …B	128,249	118,637	138,622	141,110	155,780	171,773
	A/B (%)	34.1%	40.4%	41.2%	42.1%	44.1%	42.9%
第二種奨学金	機関保証選択数 (件) …A	129,983	153,774	162,185	159,566	160,503	142,404
	加入対象新規採用数(件) …B	312,014	323,801	334,084	327,705	321,308	294,622
	A/B (%)	41.7%	47.5%	48.5%	48.7%	50.0%	48.3%
合 計	機関保証選択数(件) …A	173,753	201,658	219,266	218,915	229,160	216,172
	加入対象新規採用数(件) …B	440,263	442,438	472,706	468,815	477,088	466,395
	A/B (%)	39.5%	45.6%	46.4%	46.7%	48.0%	46.3%

(注) 機関保証制度選択数とは、奨学生採用時に機関保証を選択した件数であり、人的保証から機関保証への変更分は含まない。

# 1 4 代位弁済状況

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
第一種奨学金	件数 (件)	397	629	697	743	964	1,192
	金額 (億円)	5	8	10	11	15	18
第二種奨学金	件数 (件)	1,532	2,753	3,202	3,484	4,492	5,656
	金額 (億円)	27	50	63	73	99	126
合 計	件数 (件)	1,929	3,382	3,899	4,227	5,456	6,848
	金額 (億円)	31	58	74	84	114	144

(注) 金額には元金に加えて、利息及び延滞金が含まれる。